

≪川口特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部	R7.5.1 児童・生徒数	(男) 295 (女) 103	計 398
アクセス	J R川口駅より国際興業バス「サンテピア」下車徒歩 1 分 J R西川口駅・蕨駅より国際興業バス「鳩ヶ谷本町 1 丁目」下車徒歩 1 5 分					
＜教育課程等＞						
・児童生徒一人一人の発達と障害特性、生活年齢及び将来像を踏まえた指導・支援。 ・児童生徒一人一人の主体的な学びと人との関わりを大切にした指導・支援。 ・主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善・実践。 ・カリキュラム・マネジメントに基づく教育課程の見直し・実践。 ・「一人一人を大切にする学校づくり宣言」に基づく児童生徒の人権を尊重した指導・支援。						
＜学校行事・部活動＞						
・学部、ブロックごとで取り組むゆとりある運動会、文化祭の実施。 ・指導の系統性を踏まえた社会体験学習、校外宿泊学習、修学旅行の実施。 ・ICT 機器を併用した儀式的行事の実施。						
＜家庭・地域との連携＞						
・地域関係機関、近隣の特別支援学校と連携した家庭支援の充実。 ・地域のニーズに対応する特別支援教育のセンター的機能の発揮。 ・臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士と連携して取り組む指導・支援。 ・支援籍学習の実施。 ・近隣の小中学校との交流及び共同学習の実施。 ・授業参観、学校見学会、学校公開の実施。						
＜進路＞						
・令和 6 年度中学部卒業生 34 名は、戸田かけはし高等特別支援学校、鳩ヶ谷分校へ進学しています。 ・小学部の卒業児童 33 名は、本校中学部へ進学しています。 ・係活動（小学部低学年）、仕事体験（小学部高学年）、校内実習（中学部）、作業学習（中学部）など将来を見据えたキャリア教育を推進し、進路指導を行っています。 ・就労支援アドバイザーを活用し、保護者（進路学習会）、教職員（進路研修）を実施し、進路指導の充実を図っています。						

学校教育目標 『仲間と共に 自ら学び 未来を切り拓いて 豊かに生きる』

本校の 特 色

校章



三羽の鳥は子供たちが未来に力強くはばたいていく姿を表す。鳥を囲む三重円は川口の「川」、「口」を輝く光の形で表す。一人一人の良いところを見つけ、それを輝かせる教育の力と、それを土台に希望ある人生を歩んでほしいとの願いが込められています。

小低フロック目標

- ①学校生活に慣れ、自分の要求や意思を表現する。
- ②大人を支えにしながら、やってみたい気持ちや期待感を持って取り組む。
- ③大人との信頼関係をつくり、集団でのルールを学び、友だちと仲良くする。
- ④生活リズムを整え、身体をたくさん使って元気に過ごす。

- 一人一人の主体的な学びと人との関わりを大切にする学校
 - ・「できた、わかった！」を大切に児童生徒のニーズに応じた授業
 - ・宿泊学習、社会体験学習、林間学校、修学旅行を通して経験の拡大
 - ・学部、ブロックごとで取り組むゆとりある運動会、文化祭
- 家庭や地域との連携を生かし、一人一人の豊かな生活を支える学校
 - ・家庭・地域・専門家との連携を生かした校内・校外支援と進路指導
 - ・仕事体験・校内実習・作業学習など将来を見据えたキャリア教育
 - ・緊急時、災害時に備えるとともに、ヒヤリハットを教訓にした安心安全な学校
 - ・「一人一人を大切にする学校づくり宣言」をもとにした、児童生徒一人一人の人権を尊重する教育活動の実践

小高フロック目標

- ①学校生活に見通しを持ち、自分の気持ちを伝えたり他者の気持ちを受け止めたりする。
- ②大人や友だちを支えにしながら、何ごとにも挑戦してできることを増やす。
- ③集団でのルールを意識し、友だちと一緒に活動する楽しさや喜びを感じながら、人との関わりを広げる。
- ④自分の身体を知り、大切にして健康に過ごす。

中学部目標

- ①生活経験を広げ、自分の気持ちをよりよく表現したり、他者とのかかわりを通して気持ちを調整したりする。
- ②目標を持って自分で取り組み、最後までやりとげる。
- ③集団の中で自他の役割を意識し、ルールを守り、思いやりを持って協力して活動する。
- ④健康や身の回りの安全への意識を高め、基本的な生活習慣を確立して丈夫な身体をつくる。



コバトン＆グッチーくん（本校マスコット）

埼玉県立川口特別支援学校
～ 児童生徒の成長物語 ～
育 成 方 針